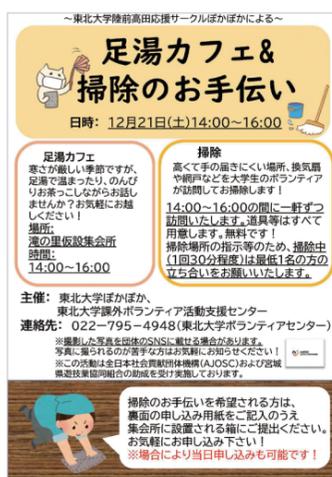


共同助成(宮城県遊技業協同組合)

「大学生ボランティアによる持続可能な コミュニティ形成支援」事業

東日本大震災の被災地で住民の孤独化の解消や コミュニティ形成の支援に継続的に取り組む

未曾有の被害をもたらした2011年の東日本大震災から9年が経過した。被災地では復旧から復興に向けて新たなコミュニティの形成や活性化などの問題を抱えているが、訪れるボランティアが減少しているのが現状である。被害が甚大だった岩手県陸前高田市で心の復興の一助となる活動に長く取り組む学生ボランティア団体がある。



足湯カフェ&掃除のお手伝いを告知するチラシ



学生を中心に仮設・災害住宅に入居する高齢者の孤独化を防ぐサロンを開設

刻々と復興の状況が変化しつつある被災地で 課題に合わせた支援活動を展開する学生団体

東日本大震災翌年の2012年8月に結成された「東北大学陸前高田応援サークルぽかぽか」は、東日本大震災の被災地である岩手県陸前高田市において、復興状況やニーズが変わるなかで、これまで毎月1回程度の頻度でボランティア派遣を継続的にを行い、被災された現地の方々との関係を築いてきた学生ボランティア団体である。

現地では今、仮設住宅を出る人が増えるにつれて集約化が進むなかで、引っ越しが繰り返され、仮設住宅内の自治機能が弱まり、入居者が孤立傾向にある。また、複数の仮設住宅から災害公営住宅や高台造成地に移住するため、住民同士のつながりが希薄である。さらに震災によって少子高齢化がより加速したため、お祭りなどの担い手となる若者が減少しているうえ、自治会などの中心が高齢

者であるために新たなコミュニティ形成の機会が少なく、自治会館などの建物は完成してもコミュニティ自体が発達だという問題を抱えている。また、子どもたちに目を向けられれば、震災によって自由な遊びを制限されたり、日常的に大学生と触れ合う機会がないことで進学への意欲の低下や将来像が描けないなどの問題が指摘されている。

こうした状況の中で、AJOSCの助成を受けた同団体では、仮設住宅や災害公営住宅・高台の入居者の孤立化を防ぎ、コミュニティ形成を支援するためのサロン活動のほか、人口流出のために継続が困難になりつつある伝統行事やイベントの手伝い、遊び場が減った子どもの居場所確保の支援や学習支援などの活動を実施した。また、震災の風化を防ぐため、団体メンバー以外の東北大学生を現地に連れていき、ボランティア活動も一緒に行うボランティアコーディネーターの活動にも取り組んだ。

サロン活動、地域活動、子どもの支援活動など 住民との交流が自分たちの大きな喜びに

サロン活動としては、足湯、手芸カフェ、料理企画などを通して住民が集まる場の提供や、参加者一人ひとりへの寄り添いや傾聴を中心に行った。地域活動としては七夕、夏祭り、復興感謝祭、権現祭などへの参加、子どもを対象にした活動としては、陸前高田市内の小学生や未就学の子どもたちの宿題を見たり、一緒に遊んだりした。こうした活動は2019年4月～2020年2月まで計14回実施され、のべ164名が参加した。

1年間の活動を振り返り、同団体の代表を務める砂山風磨さんは、「継続的に活動することで築き上げてきた関係だからこそ得られる陸前高田の住民の方々との心温かな交流は、私たちにとって大きな喜びであり、活動におい

るやりがいとなっています。また、様々な活動を通じて、むしろ私たちのほうが住民の方々から優しさを与えていただいていることをひしひしと感じています。私たちのような災害復興支援系の活動は、被災地のみなさんから継続することを求められています。学生という立場上、経済的にも学業的にも不安がありますが、今後も可能な限り関係を持ち続けていこうと思っています」と話す。

宮城県遊技業協同組合より

震災から9年が経過し、現地を定期的に訪れるボランティア団体が減ってきているなか、学生たちの継続的な活動は心強く思います。



足湯、手芸カフェ、料理企画など住民同士のコミュニケーションが生まれやすいイベントを企画



参加者一人ひとりへの寄り添いや傾聴も行っている

助成団体:東北大学陸前高田応援サークルぽかぽか

<http://ameblo.jp/poca-2/>



支援活動の継続と状況に合わせた発展的な活動を展開

この度はご支援いただき、心より御礼申し上げます。当団体のように、災害から時間が経過し、風化の進む被災地域での活動は資金面に苦慮し、その継続が困難に直面している事例が多く見受けられます。学生主体の活動となると尚更です。そうした地道な活動へのご支援、そして世間への広報が多くの困難に直面している人々に力を与えることになろうかと思えます。

東北大学陸前高田応援サークルぽかぽか
代表 砂山 風磨さん